日本建設業連合会
ACe 建設業界 11
Volume91 2018.11

編集後記

食欲の秋、スポーツの秋、そして芸術の秋――。「災害級」の猛暑だった夏も過ぎ、ようやく過ごしやすい季節となりました。今月号の特集では、秋にふさわしく、劇場、博物館、美術館といった芸術文化施設を紹介します。芸術文化施設といえば、畏まって静かに芸術を鑑賞するというイメージですが、最近は時代に合わせて変貌を遂げ、なかなか面白くなってきているとか。今回の3施設も写真を見るだけで訪れたくなってしまいます。たまには評判の展覧会やコンサートに足を運んでみたらいかがですか。(N)

今号の特集で訪れた芸術文化の殿堂。どちらも既成概念を超えた、新しいチャレンジに取り組んでおられました。今やこうした施設は単に鑑賞の機会を提供するばかりではなく、より自律的に創造のすばらしさを発信する装置、人と文化の出会いの場として機能しています。そしてその建造物そのものも地域のランドマークとして威光を放ち、人々に親しまれています。これも建築の力、技術の賜物なのだと改めて実感しました。(E)

発行 一般社団法人 日本建設業連合会
〒104-0032
東京都中央区八丁堀2-5-1
東京建設会館
TEL 03-3553-4095
FAX 03-3551-4954
URL http://www.nikkenren.com/
発行者 山本徳治
企画・編集 一般社団法人 日本建設業連合会
広報委員会
制作 株式会社Kプロビジョン
デザイン 株式会社コンセント
印刷 株式会社耕文社

ⓒ2018 日本建設業連合会
「ACe建設業界」は日本建設業連合会の登録商標です

年間購読料：4,800円(送料込)

お知らせ

写真展「土木四人展」

本誌の連載「現場発見」でおなじみの土木写真家・西山芳一氏と氏に師事している大村拓也氏、徳川弘樹氏、飯室和也氏による写真展「土木四人展」が開催されます。

西山氏と土木の出会いは30年ほど前。愛車の四輪駆動で新潟県の三国川ダムの工事現場付近を走っていた際、突然興味が湧いて遠くから半日ほどじっと眺めているうちに見入ってしまい、いつか現場の中に入って写真を撮ってみたいと思ったのがきっかけで、橋やトンネル、ダムなどの様々な土木工事の様子を撮り続けて今日に至ります。

西山氏の作品は、工事中の土木構造物の写真を1枚の絵画のように昇華しているのが特徴です。

今回は西山氏の個展ではなく、氏に師事する3人の若き土木写真家との共催です。氏の薫陶を受けた3人がどこまで西山ワールドに近付いたのか、あるいは越えたのか。ご自身の目で確かめてみてはいかがでしょうか。

会期 2018年11月14日(水)～11月20日(火)
10:00～19:00 ※「土木の日」11月18日(日)含む
(期間中無休／最終日は15:00まで)

会場 ＦＭエキシビジョンサロン銀座
東京都中央区銀座6-4-7-1F・2F

出展 西山芳一「見上げる橋」 アンビジョンギンザ
大村拓也「東京工事舞曲」 ギャラリー１
徳川弘樹「sheds」 ミニギャラリー
飯室和也「Circle Works」 ステアーズギャラリー